



会 長 高 山 泰 四 郎
幹 事 坂 本 肇

会長テーマ

「ロータリーの魅力を探ろう！」

例会日／毎週月曜日 12:30～
例会場／トキハ会館 4F
TEL 097-532-0611
FAX 097-532-8386

- ・ 例会出席によって……
- ・ 委員会活動の実践で……
- ・ 地区行事への参加で……
- ・ 家庭集会の場で……



2013～14年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを實踐し
みんなに豊かな人生を」

R I 会 長
RI第2720地区ガバナー
ガバナー補佐

ロンD・バートン
赤 山 武 興
赤 嶺 昭

■ 本日のプログラム (12月9日)

12:30 点 鐘
ロータリーソング 「我等の生業」
ゲスト・ビジターの紹介 会 長 高 山 泰 四 郎
会 長 の 時 間 会 長 高 山 泰 四 郎
出 席 報 告 委 員 長 穂 田 英 一 郎
幹 事 報 告 幹 事 坂 本 肇
委 員 会 報 告 関 係 委 員 会
ニコニコタイム 親睦委員長 吉 良 昌 一

13:00 卓話の時間

「会員増強について」 鳥越 徹 会員

■ 第17回例会の記録 (12月2日)

・ 出席報告 (12月2日)

会 員 総 数	15名 (うち名誉会員 2名)
12 月 2 日	
出 席 免 除	2 名
出 席 会 員 数	9 名
出 席 率	69.23 %
ゲ ス ト	0 名
ビ ジ タ ー	1 名
11 月 18 日	
修 正 出 席 率	84.61 %

■ 次週の例会 (第19回 12月16日)

クリスマス例会
～ホルトガーデンにて～ 18:30

ロータリーソング 【我等の生業】

我等の生業^{なりわい}さまざまなれど 力むるところは向上奉仕
集いて図る心は一つ おお ロータリアン
求むるところは^{やわらぎ むつみ}平和親睦 我等の集い

会長の時間 (12月9日) 会 長 高 山 泰 四 郎

「師走を迎えて」

本年も残す処あと3週間余りとなり、本格的な冬の到来です。小生が子供の頃は、毎年この時期になりますと、街角には門松が飾られ、お正月が待ち遠しかったものです。暮れも押し詰まって来ますと、我が家の庭に俄か造りのレンガのカマドが据えられ、モチ米をふかして、父や兄達が威勢良くモチつきをしたものでした。子供達はお手伝いをしながら、つきたてのモチをつまみ喰いして叱られたことを懐かしく思い出します。最近モチつきもしなくなり、機械化されて、こんな楽しみも無くなって寂しいものです。

又、あのころは今よりも寒さが格段に厳しかった印象があります。子供達の両手はヒビやアカギレだらけで、鼻水をすすっていました。何歳の頃はか覚えていませんが、或る朝起きてみると、庭一面の雪景色で、その白一色の風景の中に南天の赤い実が鮮やかに目に映ったことを、今でもハッキリ憶えています。あの頃は季節の変化がハッキリしていたと思いますが、昨今は地球温暖化の影響でしょうか、季節感が薄れて参りました。

私共はひたすら経済的繁栄を至上命題として追及して来た結果、かけがえの無い自然環境を破壊し、同時に日本古来の「行事」や「しきたり」と言った日本人の大切な心を失った様に思います。今や政治家も科学者も市民も「かけがえの無い地球」の環境悪化に対処しなければならない時です。私共ロータリアンも、身近な処から出来るささやかな地球環境保全に努めたいと思うこの頃です。

ゲスト・ビジターの紹介

ビジター

小代 一幸 様(津久見RC)

ニコニコタイム (12月2日分)

藤本 保会員 (自主2口)

なんと！先日の8クラブ合同ゴルフコンペ、BB賞をいただきました。喜びを皆様に分かちあうために2口いたします。

(ロータリーの友 12月号より)

12月は「家族月間」。ロータリーに関するすべての人たち「ロータリー家族」に注目すべき時です。ロータリーには3万4,558のクラブ、120万人の会員がいるだけでなく、36万5,125人のインターアクター、13万3,860人のローターアクター、17万4,547人のロータリー地域社会共同隊（RCC）の会員がいます。また、ロータリーの配偶者や子ども、ロータリーがこれまでパートナーシップを結んできた、地域のNPO（非営利組織）やNGO（非政府組織）も含まれます。ロータリー家族は数百万人もいて、新しいつながりが広がりながら成長し続けています。

私たちは皆、ロータリーでは一人では何かをするより、みんなが力を合わせて行ったほうがより多くのことができると思っています。みんなが一緒になれば、素晴らしいことが達成

できるのです。ロータリー家族の枝葉が伸び続け、ロータリーが成長し続けていかなければなりません。地元のNGOやほかの組織と協力することで、新しい知識を得て、リソースが豊かになり、活動の幅も広がります。また、相互理解、親睦、協力の輪も広がるでしょう。世界のさまざまな組織と協力することで、ロータリーだけでは達成できないことを成し遂げ、ロータリー家族の成長にもつながります。

パートナーシップの効果は、長年のポリオ撲滅活動の歴史からも証明されています。世界ポリオ撲滅推進計画におけるパートナーシップがあったからこそ、私たちはこの活動をここまで前進させることができ、撲滅を完遂しようとしています。このパートナーシップの重要性をしっかりと認識し、今後の活動にも反映させていく必要があります。

■2014-15年度 役員・理事発表

会 長 藤 本 保
 直前会長 高 山 泰四郎
 副 会 長 木 村 成 淑
 幹 事 安 井 亜紀子
 副 幹 事 吉 良 昌 一
 S A A 高 山 泰四郎
 会 計 大久保 修身

会計監査 小 野 三八男
 理 事 木 村 成 淑(クラブ管理運営)
 " 鳥 越 徹(会員組織)
 " 箱 田 恭 彦(クラブ広報)
 " 坂 本 肇(奉仕プロジェクト)
 " 穂 田 英一郎(ロータリー財団)

雑誌・広報委員会

- ロータリーの友12月号より
- ・日韓親善会議を通じて未来の平和
- ・子どもたちの未来
- ・宮城県名取市 津波にのまれた閑上の復興・混沌のなか「次の一步へ」

— ロータリー家族清掃活動 —

12月1日(日)午前9時より、ジャングル公園にロータリー家族が集合し、清掃と募金活動を行いました。

参加者は約100名で募金額は¥89,682となりました。

参加された高山会長、吉良、安井会員は大変お疲れさまでした。

